

# 令和5年度こんにゃく原料需給計画

(単位:精粉20kg/袋)

項目 年度(R.5.11~R6.10)	需 要 量 (消費量) 注2①	供 給 量					期 末 在 荷 量
		期 初 在 荷 量 注2)②	国 内 生 産 量		輸 入 量 注2)⑤⑥	供 給 量 合 計	
			生 産 量 注2)③	春 切 り 量 注2)④			
計画値計算式	a	b	c	d	e	f=b+c+d+e	g=f-a
原料(国内・輸入)数量見込	<b>222,300</b>	<b>287,900</b>	<b>227,500</b>	<b>2,000</b>	<b>7,400</b>	<b>524,900</b>	<b>302,600</b>
(前年度実績)	224,000	273,100	233,800	2,500	2,500	511,900	287,900
製品 輸入数量見込	<b>14,700</b>				<b>14,700</b>	<b>14,700</b>	
(前年度実績)	17,200				17,200	17,200	
合計	<b>237,000</b>	<b>287,900</b>	<b>227,500</b>	<b>2,000</b>	<b>22,200</b>	<b>539,600</b>	<b>302,600</b>
(前年度実績)	241,200	273,100	233,800	2,500	19,700	529,100	287,900
前年比(%)	<b>98.3%</b>	<b>105.4%</b>	<b>97.3%</b>	<b>80.0%</b>	<b>112.4%</b>	<b>102.0%</b>	<b>105.1%</b>

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

①合計需要量は平成21～令和4年度の実績を基に回帰分析によりトレンドでR5年度を237,000袋と推計した。(Ⅶ-6)

原料需要量は合計需要量から製品需要量(=製品輸入量)を引いて(237,000-14,700)、222,300袋とした。

②期初在荷量は、令和4年度期末在荷量287,900袋とした。

③生産量は、令和5年産(50,900トン)から算出(50,900×1,000×歩留(8.940%)÷20kg)し、227,500袋と見込んだ。(Ⅰ-1、Ⅶ-4)

④春切り量は、2,000袋と見込んだ。

⑤原料輸入量は、令和5年11月から翌1月における3ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(+194.1%)を前年度1年間の原料輸入量に乗じて7,400袋とした。(Ⅵ-3-(3)、Ⅶ-5)

⑥製品輸入数量は原料輸入量と同様に、令和5年11月から翌1月における3ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(-14.3%)を前年度1年間の製品輸入量に乗じて14,700袋とした。(Ⅵ-4-(3)、Ⅶ-5)

⑦期末在荷量は、原料供給量合計(524,800袋)から原料需要量(222,300袋)を差し引いて302,600袋とした。